

[報 告]

東北大学と理化学研究所が協定締結 —計算科学・計算機科学など関連分野の研究領域において連携・協力—

- * 東北大学と理研との間で研究開発、人材交流を推進し、研究開発を加速
- * 計算科学によるイノベーションの創出、国際的な人材の育成などを旨とする
- * 共同利用型のスーパーコンピュータを運用する機関と協業体制の整備を推進

平成 21 年 4 月 14 日（火）、文部科学省において、東北大学と理化学研究所における連携協力協定締結の調印式が行われました。調印式では、最初に文部科学省 研究振興局 舟橋情報課長より挨拶があった後、東北大学のサイバーサイエンスセンター小林センター長より、連携協力に関する背景、東北大学のベクトルコンピューティングに関する最近の成果、東北大学がリードする計算科学分野、東北大学と理化学研究所とで重点的に進める研究課題についての説明があり、理化学研究所の次世代スーパーコンピュータ開発実施本部渡辺プロジェクトリーダーより、理化学研究所の「次世代スーパーコンピュータ」プロジェクト（平成 18 年～24 年度、総事業費 1,154 億円）に関する説明がありました。最後に東北大学の井上明久総長と理化学研究所の野依理事長からの挨拶があり、協定書への署名の後、両者は固い握手を交わしました。

この協定では、広範な計算科学、計算機科学およびこれらに関連する研究領域において連携・協力し、国産の高性能計算技術の研究開発だけではなく、理論と実験、計算科学と計算機科学の融合など、広範な学際領域の開拓を図り、計算科学によるイノベーションの創出、国際的に活躍できる人材の育成、人材交流を目指します。

